

大学連携事業 活動報告シート

事業名	ドアプレートで夏の思い出を作ろう！	※○を付けてください。 新規・ <input checked="" type="checkbox"/> 既存
分野	※ 該当する分野に○を付けてください。 ①ごみ・環境 ②安心・安全 ③健康・福祉・長寿 <input checked="" type="checkbox"/> ④子育て・教育 ⑤文化・スポーツ ⑥交流・コミュニティ ⑦都市整備	
期間	令和元年8月2日(金) ①10:00~12:00(午前の部) ②13:30~15:30(午後の部)	
参加人数	子ども30人(午前15人、午後15人) 保護者22人(午前13人、午後9人)	
連携大学教授・研究室等	愛知県立芸術大学 美術学部陶磁専攻 准教授 佐藤 文子	
大学窓口	同上	
市担当課	みどりの推進課 平成こども塾	
事業内容	液体の粘土の水分を吸収する石膏ボードを使用しているろいろな形の陶板を作る。そして、思いがけない面白い形の陶板をキャンパスに、動物などのモチーフや夏休みの思い出を描く。製作した陶板は、焼成後に後日引取りとなる。実施者：高嶋佑果・宮下陽・清水美香子・鹿村香名・加藤登紀子(愛知県立芸術大学大学院生5人)	



石膏ボードに液体粘土を落として、ドアプレートのもと形の作る。



粘土の形は、液体が流れてできるので、想像したものとは違った形になった。



乾いた粘土にイメージを膨らませて色を塗っていく。



焼き上げて飾りつけると、こんな素敵なドアプレートになった。